

げんきだよ~

特集

一町の子育て事業一

「子どもは風の子元気な子」と言われるように、どんなときも元気いっぱいです。

今月号は、そんな子どもたちが元気にすくすく育てるよう、子育て世代を応援・支援する町の事業を紹介します。

かけがえのない宝物

町の子育て事業

「将来どんな人になるのか
希望と、「ちゃんと健
康に生
まれてくるかな」という不
安
が入り混じる出産。無限の可
能性を秘めながらくすくと
元気に育つ子どもたちは、か
けがえのない宝物です。

しかし、「妊娠したけど
うすればいいのだろう」、「子
育てに対する不安があるんで
す」、「子どもが安心して遊ぶ
場所はあるの?」など、子育
てに不安や悩みを抱えている
方もあります。

そんな不安を少しでも払
拭し、安心して子どもを産み
育てられる下郷町をつくるた
め、平成27年度から31年度に
かけて「下郷町子ども・子育
て支援事業計画」に取り組ん
でいます。

本特集では、実施している
事業内容や支援策を紹介しま
す。行き届いた子育てのため
には地域の皆さまの協力も必
要不可欠です。町民と行政が
一体となり、安全で安心した
子育てができるように、皆さ
んで考えていくことが大切で
す。

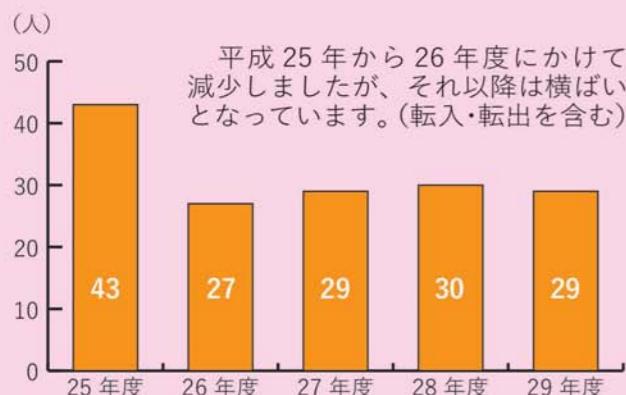
◆町の出生数などについて
平成2年の「1.57ショック」
から少子化問題が騒がれ始
め、依然子どもや子育てをめ
ぐる環境は厳しいままです。
子育てができるように、皆さ
んで考えていくことが大切で
す。

本特集では、実施している
事業内容や支援策を紹介しま
す。行き届いた子育てのため
には地域の皆さまの協力も必
要不可欠です。町民と行政が
一体となり、安全で安心した
子育てができるように、皆さ
んで考えていくことが大切で
す。

◆町の出生数などについて
平成2年の「1.57ショック」
から少子化問題が騒がれ始
め、依然子どもや子育てをめ
ぐる環境は厳しいままです。
就労形態の多様化や女性の社
会進出に伴い、保育ニーズは
年々増大しています。
本町においても抱えている
少子化問題。まずは、子ども
の出生数や保育、子育てに關
わる状況について確認してみ
ましょう。

Question 1

町では1年間にどれくらいの子どもたち
が生まれているの?



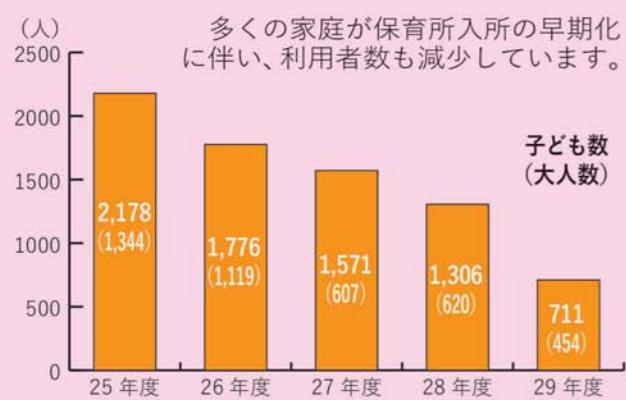
Question 2

町保育所（しもごう・湯野上）の待機児
童はいるの?

両保育所とも、過去5年間において待機児童は
いません。

Question 3

保育所入所前の子育て家庭を応援する
「地域子育て支援センター」の利用者数は?



「1.57ショック」とは…
厚生省（当時）がまとめた1989年の人口動態統計で、合計特殊出生率（1人の女性が生涯に産む子どもの数）が過去最低の1.57となったことが発表されました。
これがいわゆる「1.57ショック」です。人口統計調査が開始され、合計特殊出生率の算出が始まってからの最低記録は「丙午（ひのえうま）」にあたる1966年で、出生率は1.58まで下がりましたが、それをさらに下回り、出生率が史上最低になったのがこの年です。

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

25年度 26年度 27年度 28年度 29年度

43 27 29 30 29

平成25年から26年度にかけて減少しましたが、それ以降は横ばいとなっています。(転入・転出を含む)

（人）

50
40
30
20
10
0

子育て事業紹介

子ども・子育て支援事業計画の基本目標

- (1) 保健医療体制の充実
- (2) 子育て家庭への支援
- (3) 子どもの健やかな成長のための環境づくり
- (4) 援助が必要な家庭や子どもへの支援
- (5) 子どもを産み育てる環境の整備



子どもたちが健やかに成長することは、将来の社会発展への原動力となります。

そのためには、子どもたちや子育て家庭を社会全体で支えていくことが重要です。

町は「子どもきらきら、家族にこにこ、地域いきいき、みんなで子育て」を基本理念に、上記5つの目標を掲げて各事業に取り組んでいます。

ここでは、町が取り組む主要な事業内容について紹介します。

●特定不妊治療助成

不妊治療を受ける夫婦に対してその費用の一部を助成することにより、経済的負担および精神的負担の軽減を図ります。

●妊産婦健診費用助成

妊娠中の異常を早期発見・治療し、安心して出産に臨むことができるよう妊産婦健康診査費用を助成します。

●乳児家庭全戸訪問事業

家庭訪問において母と子の置かれた環境を把握し、子どもの発育の確認と母親の育児支援をしてい

きます。

●育児相談会

母親の思いを確認しながら、育児不安を軽減し子育てを楽しめるよう、個々のニーズに沿った支援をしていきます。

●予防接種

感染症から身を守るために予防接種は重要です。保護者が重要性を認識し全ての定期予防接種を受けよう、各種健康相談や健診で確認しています。また、定期予防接種や子どもインフルエンザ予防接種費を助成します。



◆町の主な子育て支援事業

	妊娠前	妊娠期	出産・産後	乳児期 (生後1ヶ月～1才未満)	幼児期 (1才～就学前)	学童期	中学校	高校
各種 健診 ・ 訪問	<ul style="list-style-type: none"> ●特定不妊治療助成 ●風疹抗体検査、予防接種費用助成 ●妊産婦健診費用助成 ●妊婦連絡票等活用事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●母子健康手帳発行 ●産後ケア事業 ●妊婦連絡票等活用事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●乳児家庭全戸訪問事業 ●3～4ヶ月児健康診査 ●6～7ヶ月児健康相談 ●11～12ヶ月児健康相談 	<ul style="list-style-type: none"> ●1才6ヶ月児健康診査 ●2才6～7ヶ月児健康相談 ●3才児健康診査 ●5才児健康相談 				
		●養育支援訪問事業 <ul style="list-style-type: none"> ●育児相談会 ●養育医療 ●新生児聴覚検査 ●乳幼児発達観察相談会 ●のびゆく子ども支援事業 ●定期予防接種費助成 						
歯科 ・ 口腔		<ul style="list-style-type: none"> ●歯科保健指導 		<ul style="list-style-type: none"> ●歯科衛生士の個別指導、集団指導 	<ul style="list-style-type: none"> ●おやつの提供 ●フッ素塗布 ●フッ素洗口 ●むし歯予防教室出前講座 	●小・中学校歯科教室		
食育				<ul style="list-style-type: none"> ●栄養士による個別指導、集団指導 ●離乳食教室 		<ul style="list-style-type: none"> ●親子食育教室 ●地域食育教室 		
福祉		<ul style="list-style-type: none"> ●要保護児童対策地域協議会 		<ul style="list-style-type: none"> ●保育所、児童手当等各種手続き 	<ul style="list-style-type: none"> ●特別児童扶養手当、障がい児関係手続、サービス利用等 			
教育					<ul style="list-style-type: none"> ●放課後児童クラブ ●放課後子ども教室 ●思春期の健康教育の推進 			

◆その他経済的支援等

●保育料

町の保育料は、国の徴収基準額から約30%減の金額で設定しています。また、同時入所の第2子（年少児童）以降を無料としています。

●子宝祝金

第3子以降の出生児に祝い金を贈ります。

●子ども医療費助成事業

0才から18才（年度末まで）の子どもの疾病、負傷の治療に掛かった費用を助成します。

※一部例外あり

●チャイルドシート助成事業

対象は乳幼児用のシートで、購入金額の1/2（限度額1万円）

を助成します。

●入学祝金

小学校並びに中学校入学時に、入学者に対し、入学祝い金を贈ります。

●学校給食費助成事業

町内小中学校児童生徒の給食費用を全額補助しています。

子育て支援センター

町では、しもごう保育所内に「地域子育て支援センター」を設置しています。支援センターは、就学前の乳幼児とその保護者の方を対象として、相談への対応や親子が集う場の提供などの事業を展開しています。

子どもの出生数の減少や保護者の就労の増加により、年々支援センターの利用者数

は減少傾向にあります。ですが、支援センター内には安心して子どもたちが遊べる場所があります。また、保護者同士の交流や子ども同士の交流により、社会性を育むことにもつながります。子どもの遊び場として、保護者のリフレッシュの場としてお気軽にご利用ください。



▲町役場1階の健康福祉課健康係内に設置してある子育て世代包括支援センターと職員

切れ目のないきめ細やかな支援体制

子育て世代包括支援センター

町では平成30年度より、町役場内に「下郷町子育て世代包括支援センター」を設置しています。

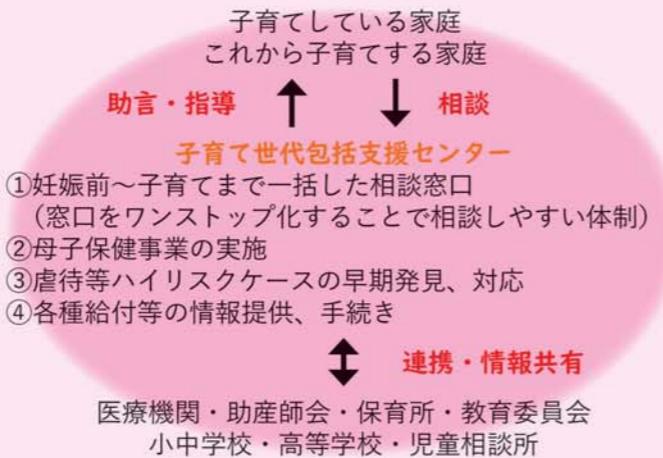
当センターは、妊娠前から子育て期にわたるさまざまな悩みに対し、保健師などが専門的見地から相談支援等を実施します。

現在子育てで悩んでいる方、ご近所や知人で子育てに困っている方、悩んでいる方がいましたら、お気軽にご連絡ください。

保健師や看護師の資格を持つ職員が全力であなたの子育てをサポートします。



◆子育て世代包括支援センターの役割



最後に…

出産や子育ては嬉しいことや幸せなことがあります。ですが、その反面とても大変なこともあります。

町では、今後も手を緩めることなく、子育て支援に努めています。皆さんも不安なことなどありましたら、お気軽にご相談ください。

皆さんのが安心して子育てできる町、「子育てなら下郷町」を目指して…



開放日時 月～金曜日（祝祭日を除く）

午前8時30分～正午

午後2時30分～4時

問合せ先 ☎ 0241-69-1137

子育て支援センターでは、育児相談をはじめ子育てに関わるご相談を受け付けています。

ぜひ施設を利用していただき、親子で遊んだり保育所園児と触れ合っていただきたいと思います。

豆まきやひな祭り、クリスマスといった行事も開催しますので、センター職員と一緒に楽しみませんか。当センターの利用を心よりお待ちしております。



地域子育て支援センター所長
(しもごう保育所長)
室井 和子

利用者の声

支援センターを定期的に利用している丹野さん親子にお話を伺いました。



私たち下郷町に引っ越してきたばかりですが、子育て支援センターを定期的に利用させてもらっています。

子どもが歩き始めるころに、安心して遊ばせる場所があるのは本当にありがたいです。

定期的に育児や健康相談もあるのでとても助かっています。

丹野さん親子（塩生）
晴菜さんと凜士くん

地域子育て支援センターのイベント情報は毎月の広報しもごうに掲載しています

育児サロンの他に、育児相談、センター事業を毎月開催しています。

こちらのご案内は、支援センターで周知している他、町広報紙でも周知しています。お気軽にご来場ください♪



申告相談会の開催

成31年度の町県民税申告相談会を開催します。

本町に住所を有し、申告が必要な方に該当する皆さまは申告をお願いします。

詳細については、1月に全戸配布した「町県民税申告相談会開催のお知らせ」をご覧いただき、お問い合わせください。

1月23日に全戸配布した「平成31年度町
県民税申告用談会開催のう
ちづけ」

◆申告が必要な方

- (1) 農業、商業、建設業、サービス業など各種事業所得者
 - (2) 地代、家賃、配当、譲渡所得などの収入があつた方
 - (3) 給与所得者で次に該当する方
 - ①勤務先から町に給与支払い報告書が提出されていない方
 - ②給与以外に農業、地代、家賃、配当などの収入があつた方
 - ③平成30年中の途中で就職または退職し、年末調整をしていない方
 - ④臨時に雇われ給与収入のあつた方
 - (4) 公的年金受給者で次に該当する方
 - ①公的年金以外に農業、配当、地代、家賃、個人年金などの収入があつた方
 - ②臨時に雇われ給与収入のあつた方
 - (5) 無収入の方でも、国民健康保険加入世帯、児童扶養手当受給者、障害年金受給者、国民年金保険料免除申請者、特定疾患認定申請者等で課税証明（所得・控除・課税状況等）が必要な方など



◆申告が不要な方

- (1) 税務署で確定申告をする（した）方
 - (2) 勤務先から町に給与支払報告書が提出され、その他に所得や控除がない方
 - (3) 公的年金以外に収入がない方

※ただし、扶養親族・医療費・生命保険料・寄附金・寡婦（寡夫）などの控除を追加する場合は申告が必要です。

町民スキー大会参加者募集

雪 国ならではの冬季スポーツに親しむとともに、町のスキーレベル向上や体力づくりを図るため、右記のとおり町民スキー大会が開催されます。

部門や申込方法は右記のとおりです。

皆さま多数ご参加ください。



- ◆日 時 2月 24 日 (日) 9:30 ~ 開会式
- ◆会 場 だいくらスキー場 白樺インコース
- ◆競技方法 大回転（2本滑走し良い方を採用）
- ◆部 門
 - A 親子レース
 - B 小学1~3年生 男子
 - C 小学1~3年生 女子
 - D 小学4~6年生 男子
 - E 小学4~6年生 女子
 - F 中学生 男子
 - G 中学生 女子
 - H 一般 男子（高校生～50才未満）
 - I 一般 女子（高校生～50才未満）
 - J 一般壮年 男子・女子（50才以上）
- ◆参加料 300円（リフト代は個人負担）
- ◆申込期限 平成31年2月8日（金）

2月8日（金）まで受付。

◆社会教育係 ☎0241-69-1168

新たな魅力を発信。



町では、魅力の発掘や発信を行い、移住・定住のきっかけづくりとして、町の公式Instagramを開設しました。積極的な発信を心掛けていきますので、皆さまぜひフォローしていただき、良かつたと思う投稿には「いいね」をお願いします。

◆Instagram 町アカウント
shimogo_official
福島県下郷町
アプリをダウンロードしてまずは
下郷町 で検索

町公式インスタ開設

◆総合政策係 ☎0241-69-1122

講演会は2月17日。

◆健康づくり講演会（午後1時10分～）

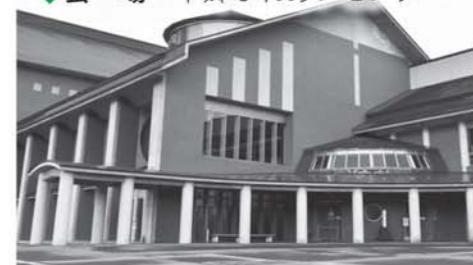
テーマ 「失くして初めて分かる大切さ」
講師 南東北病院副院長 佐藤光夫 氏
※先着300名にラスクをプレゼント。
健康ポイントを2つ付与します。

◆生涯学習講演会（午後2時40分～）

テーマ 「マイ・ドリーム」
講師 元女子バレー全日本エースアタッカー 大林素子 氏
※参加者全員にしもごろーカードの100ポイントをプレゼントします。

と町教育委員会が主催する健康づくりおより生涯学習講演会が左記のとおり開催されます。健康づくり講演会では、しもごろーカードをご持参ください。入場料は無料となりますので、皆さま多数ご来場ください。

◆日 時 2月 17 日 (日)
13:00 ~ 開会
◆会 場 下郷ふれあいセンター



◆健康係 ☎0241-69-1199 ◆社会教育係 ☎0241-69-1168

健康と生涯学習講演会

ご協力をお願いします。

甲子トンネル交通規制

道289号甲子トンネルにおいて、右記のとおり平成31年のトンネル改修工事が実施されます。

期間中は、片側交互通行および夜間通行止めとなります。

皆さまのご理解とご協力をお願いします。



◆県南建設事務所 道路課 ☎0248-23-1628

◆通行規制期間（平成31年）

▼夜間通行止
3月25日（月）～4月19日（金）
(土・日を除く)
5月13日（月）～7月18日（木）
(金・土・日を除く)
9月2日（月）～10月10日（木）
(金・土・日を除く)
いずれも午後9時～午前6時まで

▼片側交互通行期間
3月11日（月）～3月22日（金）
(土・日は除く)
3月25日（月）～4月20日（土）
5月7日（火）～7月20日（土）
8月26日（月）～10月12日（土）



町 消防団並びに婦人消防隊の出初式、無火災祈願祭は1月6日、町役場において開かれました。式には、消防団員や婦人消防隊員ら約100名が参加しました。

殉職消防団員に対する黙とうを行った後、高倉神社長沼秀徳宮司による安全祈願祭を執り行いました。

星學町長あいさつでは「消防団は地域消防の要。町民が一丸となって安全・安心づくりを心掛けてほしい」と述べ、続いて星清美町消防団長が「自分の地域は自分で守る郷土愛を大切にし、予防消防の重要性を再確認してほしい」とあいさつを述べました。

参加者は、新年を迎える新たに今年1年の無火災、無事故、無災害を願いました。

▲あいさつを述べる星團長
▲神事を行う長沼宮司



15名にグッズを送付 しもごろ一年賀状抽選会



▲抽選に参加した浅沼会長（左）と佐藤局長としもごろー

平 成31年のしもごろーの年賀状抽選会は1月11日、町役場において開かれ、今年は町内外から125枚の年賀状が届きました。

送付された中から、浅沼弘志町観光協会長と佐藤岩男植原郵便局長が15名を抽選しました。

当選者にはしもごろーグッズが贈られました。また、年賀状を送ってくれた皆さんには、しもごろーより折り返しの年賀状を送付しています。

なお、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



- ①多くの出席者でぎわう年始会
- ②祝辞を述べる佐藤前福島県知事
- ③祝謡を披露する湯田さん（右）と河合さん



主催者あいさつでは、代表して星學町長が「全国に誇れる下郷町を目指し、情熱と誠意をもつて町政運営に取り組んでまいります」とあいさつを述べました。

輝かしい新年を祝うため、觀世流一声会の湯田真佐弘さん（倉村）と河合政弘さん（刈林）が祝謡を披露し、会場からは大きな拍手が送られました。

乾杯後は、食事を楽しみながら新年のあいさつを交わし、祝宴後は万歳三唱での飛躍と発展を願いました。

町、町議会、町教育委員会、町農業委員会、町土地改良区、町商工会、町老人クラブ連合会の主催。約140名が参加しました。

新春年始会は1月4日、下郷ふれあいセンターにおいて開催されました。

施設利用の促進へ

田沼文藏記念館。ポイント調印式



町 来館ポイント調印式は1月18日、同施設において開かれました。渡部勝男町商工会長も出席しました。

式では、星學町長が「これからも施設を利用してもらいたい」とあいさつを述べ、渡部勝男町商工会長もあいさつを述べました。その後、二つの協定書にそれぞれがサインを行い、握手を交わして調印しました。

本事業の内容は、文藏記念館に来館すると、1日につき1ポイント貯まります。方法は、館内にある端末にしもごろーカードをかざすだけです。式終了後、出席者は実際にカードをかざし、事業開始となりました。



東北・北海道地区緑化功劳賞に星さん

昨日年10月4日に開かれた平成30年度東北・北海道地区緑化推進協議会総会において、東北・北海道地区緑化推進協議会会長表彰に星隆雄さん(戸赤)が選ばされました。戸赤地区は、明治18年より遺産を後世に引き継ぐためにサクラ、クリ、ホオノキ、クルミ、ケヤキの5木を「留木」とする条例を制定し守ってきました。現在でも天然のヤマザクラを主体とした景観の保全・保護活動に取り組んでいます。

星さんは、定年退職後本格的に地域の整備に尽力。3年前からは区長として地域を支えつつ地域振興に日々尽力していました。なお、1月18日には、星學町長への報告に町役場を訪れました。

知識や指導法を学ぶ

介護予防運動指導ボランティア

町が主催する介護予防運動指導ボランティア養成

3回目の講座は1月22日に町役場で開かれ、約10名が参加しました。健康運動指導士の鈴木秀和さんを講師に招き、腹式呼吸や介護予防運動に取り組みました。

なお、講座では、救命救急講習会も実施されます。



平成31年新春書初め展は1月19日から27日にかけて、田沼文藏記念館において開催されました。

町公民館の主催。小学生240点、中学生121点、一般10点の計371点の応募がありました。期間中は、保護者や親子連れが多く来館し、子どもたちの作品などを眺めていました。

特別賞が決定 平成31年新春書初め展

◆小学生の部

学年	町長賞	教育長賞	公民館長賞
1年	渡部未優(楳)	小澤心陽(旭)	五十嵐歩音(江)
2年	室井美奏(旭)	露崎悠汎(旭)	玉川煌梨(江)
3年	黒森咲衣(江)	星 亜咲(楳)	藤原心結(楳)
4年	荒井美穂(楳)	白澤梨夢(旭)	星 凜(楳)
5年	松矢夏月葵(楳)	齋藤心羽(旭)	板橋祐奈(楳)
6年	星 真由(楳)	佐藤桃奈(旭)	長沼志保(楳)

◆中学生の部

学年	町長賞	教育長賞	公民館長賞
1年	稻本雅響	五十嵐梓	松矢猛流
2年	小山 純	星 奈緒	室井 堅
3年	酒井柚葉	板橋咲季	室井葉月

下郷 SSS が躍動 県U-11 サッカー交流大会

第41回福島県U-11サッカー交流大会は1月13、14日、新舞子フットボール場(いわき市)で開催され、下郷サッカースポーツ少年団(下郷SSS)がⅢグループの第4位という成績を残しました。

福島県サッカー協会の主催。各地区的予選を勝ち抜いた24チームが参加しました。

会津地区の第3代表として大会に臨んだ下郷SSSは、Ⅲグループの予選リーグEブロックを2位で勝ち上がるものの、次の順位決定戦でFブロックの2位に敗れてしまいました。

選手たちは、一生懸命グラウンドを駆け回り、最後まで熱戦を繰り広げました。



▲躍動した下郷SSSの選手

社会体育振興に寄与

弓田さん県体協表彰

1月8日、平成30年度公

きました。

益財団法人福島県体育協会表彰がウエディングエルティ（福島市）で開かれ、前町体育協会長の弓田忠夫さん（音金）が受賞されました。同協会の主催。弓田さんは、町体育協会長を6年、副会長を4年務めるなど、多年にわたり協会の運営並びに社会体育の振興・発展に寄与されて

表彰を受け弓田さんは「スポーツをとおして社会体育の振興に10年間貢献できたことは、多くの皆さんの支えがあつたからです。本当に感謝申し上げます」と受賞の喜びを話されました。

なお、表彰式には弓田さんが出席し、須佐喜夫県体協会長より賞状が贈られました。



▲受賞した弓田さん（表彰式より）

心の癒しとして 齋藤さん感謝状贈呈式

10月17日に町に寄贈された絵画「冬の旅（福島・会津へ）」の作者である齋藤勝正さんへの感謝状贈呈式は12月27日、町役場において開かれました。

式では、星學町長が「町民の心の癒しとして、本作品を大切にしていきたい」と御礼を述べ、齋藤さんに感謝状を贈呈しました。

福島県美術家連盟会長の齋藤さんは、絵をとおして福島に何ができるか、少しでも復興につながればという思いで本作品を描いたとのこと。「この作品が皆さん的心の癒しや観光のために資することができるなら幸いです」と気持ちを述べられました。



▲感謝状を贈呈される齋藤さん

善意ありがとう

平成30年12月26日、玉川護さん（弥五島）が来庁され、町に新春を祝う門松を寄贈されました。

心より御礼申し上げます。



▲長沼校長に寄付金を手渡す星さん（右）



▲星町長に寄付金を手渡す佐藤さん（中）と星さん

平成30年12月25日、立正佼成会の佐藤和子さん、明るい社会づくり運動会津地区協議会の星忠宏さん（姫川）が来庁され、町に10万円を寄付されました。

心より御礼申し上げます。



下郷中の1993（平成5）年度卒業生が1月17日、同校に3万3,194円を贈りました。

同月2日に開いた同級会の残金で、卒業生代表の星哲郎さん（湯野上）が「少しですが、後輩たちのために使ってほしい」と、長沼敬貴校長に寄付金を手渡しました。

昨年10月18日、長年にわたり農林水産統計業務の推進に寄与したとして、吉川貴盛農林水産大臣より星忠勝さん（落合）に感謝状が贈呈されました。

本業務は、農業に関する収支決算書を農林水産省へ報告

する内容で、星さんは平成15年より従事してきました。感謝状を手に星さんは「長年の取り組みが農業振興に貢献できたのならよかったです」と喜びを話されました。

なお、12月6日には星町長への報告に来庁されました。

星さんに感謝状

農林水産統計業務



▲感謝状を手にする星さん

星町長 動 静
No.64

1月	2月
4日 南会津広域消防署下郷出張所仕事始めの式／町役場仕事始めの式／消防本部仕事始めの式／広域組合仕事始めの式／辞令交付式／平成31年町新春年始会	15日 まちなみフォトコンテスト 表彰式
5日 町消防団出初式・無火災祈願祭	18日 平成30年度下郷町会津縦貫南道路対策協議会要望活動
6日 年始知事懇談会	19日 飲酒運転防止啓発活動
10日 福島民友新聞社訪問／福島民報社訪問／郡山国道事務所訪問	20日 国道400号舟鼻峠改良促進期成同盟会福島県要望活動
9日 会津鉄道㈱取締役会／県道戸赤栄富線整備促進協議会要望活動／一般国道289号南倉沢バイパス完成式に係る会議	25日 駐在員会議
6日 会津福祉法人南会津会理事會議	26日 衛生組合仕事納めの式／町役場仕事納めの式



神田隆宏 委員

1月1日付けで、人権擁護委員に神田隆宏さん（倉水）の再任が決まり、法務大臣より委嘱が発令されました。

人権擁護委員とは、人権擁護委員制度が施行されて以来、地域住民の基本的人権の擁護と人権尊重思想の普及高揚を目的として活動します。

なお、神田さんの任期は、同日より3年間となっています。同日より3年間となっていました。

1月1日付けで、人権擁護委員に神田隆宏さん（倉水）の再任が決まり、法務大臣より委嘱が発令されました。

人権擁護委員制度が施行されて以来、地域住民の基本的人権の擁護と人権尊重思想の普及高揚を目的として活動します。

なお、神田さんの任期は、同日より3年間となっています。

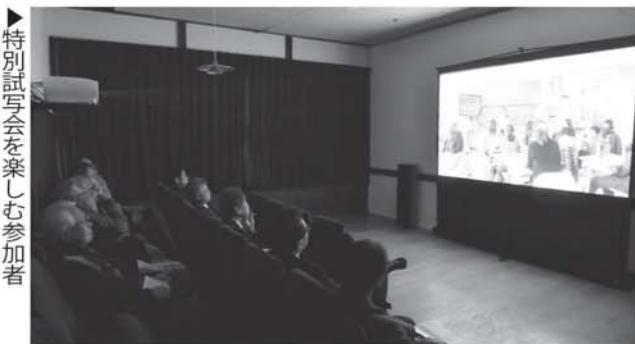
1月1日付けで、人権擁護委員に神田隆宏さん（倉水）の再任が決まり、法務大臣より委嘱が発令されました。

人権擁護委員制度が施行されて以来、地域住民の基本的人権の擁護と人権尊重思想の普及高揚を目的として活動します。

なお、神田さんの任期は、同日より3年間となっています。

奇跡の小学校の物語

ジイゴ坂学舎で特別試写会



特別試写会を楽しむ参加者

安 孫子亘監督が作成した「奇跡の学校の物語」この学校はなくさない!の特別試写会が1月15日、ジイゴ坂学舎において開かれました。ミルインターネットナルの企画と制作。地区住民など約15名が来場しました。

廃校の危機に迫られた小学校のお話です。課題解決へ向けて学校や地区住民が諸問題を取り組んでいくという内容に、参加者は感動するども参考にしていました。

基礎やターンを学ぶ

町スキー教室



平 成31年の町スキー教室は1月5日、12日、会津高原だいくらスキー場で開催されました。町体育協会と下郷スキークラブの主催。併せて約50名が参加しました。

開会では、スキークラブの室井祥一会長があいさつし、その後、参加者はレベルに応じた班分けがされました。練習では、スキークラブの皆さんのが講師となり、基礎やターンのコツなどについて熱心にレクチャーしました。

生活習慣病を予防

健康講演会

町が主催した健康講演会は1月23日、下郷ふれあいセンターにおいて開催されました。県医師会副会长の星北斗先生を講師に招き、約50名が参加しました。

「なるほど! 納得! 生活習慣病を予防するには」をテーマに、身の回りの例を挙げ、冗談を交えながら楽しく講話をされました。

生活習慣病の予防には、社会参加も一つの重要な要素であると講演されました。



▲笑顔で講演する星先生

町が主催した健康講演会は1月23日、下郷ふれあいセンターにおいて開催されました。県医師会副会长の星北斗先生を講師に招き、約50名が参加しました。

「なるほど! 納得! 生活習慣病を予防するには」をテーマに、身の回りの例を挙げ、冗談を交えながら楽しく講話をされました。

生活習慣病の予防には、社会参加も一つの重要な要素であると講演されました。

生活習慣病の予防には、社会参加も一つの重要な要素であると講演されました。

生活習慣病の予防には、社会参加も一つの重要な要素であると講演されました。

生活習慣病の予防には、社会参加も一つの重要な要素であると講演されました。

冬季の運動不足解消

塩生地区雪中運動会



▲子ども競技の雪玉ストラックアウト

冬季の運動不足解消や区民の交流を目的として実施されている雪中運動会。塩生体育委員会主体となり、各種目に取組みました。

競技では、地区対抗の「そりレース」や子どもの団体競技「雪玉ストラックアウト」など計6種目を実施しました。どの種目も参加者が一生懸命雪原を駆け周りました。

終了後は、抽選会や歳の神が行われ、今年の無病息災、五穀豊穣を願いました。



▲白熱したそりレース

塩

生雪中運動会は1月14日、塩生公会堂前広場

において開催されました。区の主催。区民約100名が参加した本運動会は、今回で17回目を迎えました。

冬季の運動不足解消や区民の交流を目的として実施されている雪中運動会。塩生体育委員会主体となり、各種目に取組みました。

競技では、地区対抗の「そりレース」や子どもの団体競技「雪玉ストラックアウト」など計6種目を実施しました。どの種目も参加者が一生懸命雪原を駆け周りました。

終了後は、抽選会や歳の神が行われ、今年の無病息災、五穀豊穣を願いました。

競技では、地区対抗の「そりレース」や子どもの団体競技「雪玉ストラックアウト」など計6種目を実施しました。どの種目も参加者が一生懸命雪原を駆け周りました。

終了後は、抽選会や歳の神が行われ、今年の無病息災、五穀豊積を願いました。

終了後は、抽選会や歳の神が行われ、今年の無病息災、五穀豊積を願いました。

町の話題

税の大切さを学ぶ

租税教室

税教室は1月15日、江川小学校で実施されました。6年生10名が参加。南会津地区税務協議会および南会津法人会が、税の大切さや役割について資料等を用いながら授業に取り組みました。

子どもたちは、税金の仕組みや何に使われているのかなどを、資料やDVDの映像とともに学びました。

なお、同月23日に旭田小、25日に樅原小でも租税教室が開かれました。

あみだくじで豪華景品

年末大売り出し特賞大抽選会



末大売り出し特賞大抽選会は1月5日、下郷ふれあいセンターにおいて開催されました。47名の方が出席しました。抽選方法はあみだくじで行われ、公平を期すために渡部勝男商工会長や星學町長が無作為に線を付け加えました。テレビや自転車、しまごろーポイントなど豪華景品が取り揃えられ、全員であみだくじの結果を見つめました。

税の大切さを学ぶ

租税教室

税教室は1月15日、江川小学校で実施されました。6年生10名が参加。南会津地区税務協議会および南会津法人会が、税の大切さや役割について資料等を用いながら授業に取り組みました。

子どもたちは、税金の仕組みや何に使われているのかなどを、資料やDVDの映像とともに学びました。

なお、同月23日に旭田小、25日に樅原小でも租税教室が開かれました。

平

成30年中の県内の交通事故は、人身事故の発生件数および傷者数は、前年に比べ約2割減少したものの、死傷者は75人（前年比7人）と大幅に増加しました。

また、歩行中の死者が全体の3割を超えた他、高齢者の死者数は依然として全体の約6割を占める現状にあります。警察では、関係機関と連携し、県民全体で「ふくしま交通事故防止3つの守り」を推進していきます。

健やかに暮らせる まちを目指して

健康しもごう21計画

便り第27号

1. 大きく鼻で息を吸いながらバンザイをし、ゆっくり口から息を吐きます。

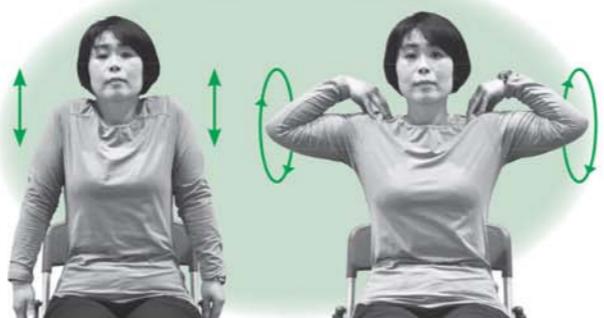


3. 首をゆっくり左右に伸ばし、大きくまわす。

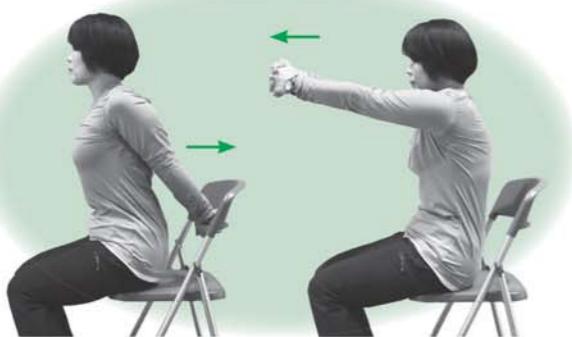
2. 首をゆっくり前後に伸ばす。



4. 両肩の上げ下げを10回行い、肩の上に手を上げて前に10回、後ろに10回まわす。



5. 腕を後ろに組んで胸を張り10秒数えます。両手を組んで前に突き出し、10秒数える。



◆平成31年度各種健診意向調査について

全世帯を対象に、平成31年度町が実施する各種健診の受診希望調査を実施します。

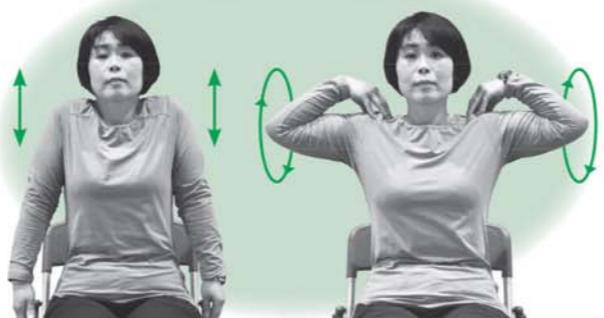
今 月は「冬季間の運動」がテーマです。皆さんは普段運動をしていますか。冬季間はどうしても屋外での活動が減り、運動量が減りがちです。そのため、肩こりや腰痛が起こりやすい季節でもあります。

今回は、ちょっとした時間に簡単にできる体操を紹介します。椅子に座ってストレッチを毎日行い、肩周りの筋肉をほぐして動きやすい体づくりをしましょう。

1. 大きく鼻で息を吸いながらバンザイをし、ゆっくり口から息を吐きます。



3. 首をゆっくり左右に伸ばし、大きくまわす。



4. 両肩の上げ下げを10回行い、肩の上に手を上げて前に10回、後ろに10回まわす。

体は適度に動かしていないと、体力が低下します。特に高齢者は日常的に体を動かさなくなると、急激に体力が低下します。
体操で体の血行を良くし、筋肉を鍛えていきましょう。何才になんても遅すぎることはありません。急がず焦らず継続していきましょう。
(来月は下半身の運動を紹介します)

2月になりましたら、各地区担当の保健補導員が、調査用紙入り封筒を配布しますので、指定された期日にご記入の上、保健補導員にお渡しください。

こんちちは!! 駐在所です
樋原 67-2325 湯野上 68-2259

【注意】元号改元による詐欺を認知!!

元号改元による銀行法改正と偽り、キャッシュカード等を送付させようとする新たな手口の詐欺を認知しました。

概要は下記のとおりです。現金やキャッシュカードの送付を求められた場合は詐欺を疑いましょう。

全国銀行協会を装い、

- ①「元号改元による銀行法改正について」
 - ②「キャッシュカード変更申込書」
 - ③「返信用封筒」
- を封書で送りつけ、暗証番号等を記入した申込書とキャッシュカードを返送させようとする手口です。

◆ふくしま交通事故防止3つの守り 2019

①マナーを守る

譲り合いの精神で、ゆとりと思いやりを持った安全運転に努める

②ルールを守る

交通関連違反の取締まりを強化する

③命を守る

県民の命を守り、子どもや高齢者、歩行者の命を守る総合的な対策を推進する

消防署便り No.87

南会津広域消防署下郷出張所
TEL 0241-67-3015



除雪作業中の事故に注意!! 事故防止ポイント

による事故死の多くは、除雪中の事故によるものです。屋根の雪下ろしや家屋周辺の除雪作業には多くの危険が潜んでいます。除雪作業は、必ず2人以上で実施してください。

今月は、除雪作業中における事故防止のポイントをお伝えします。

軒下で除雪作業中に落雪で埋まり、落雪が直撃し大けがを負うことがあります。発見されやすいよう目立つ服装で行いましょう。



◆屋根からの落雪に注意
屋根の雪下ろし中に滑つて転落したり、雪が滑りバランスを崩して転落することがあります。ヘルメットを着用し、命綱を着け落下防止しながら作業しましょう。

◆除雪機の事故に注意
除雪機に詰まった雪を取り除く際に、エンジンを停止せずにを行うことで事故が発生しています。取り除く際には、必ずエンジンを停止して休息を取りながら作業を実施してください。



◆水路等への転落に注意

流雪溝に投雪中、構内に転落する恐れがあります。ふたは開けたままにせず、作業中はカラーコーンや旗を立て、転落を防止しましょう。

わたくしたちの先生クラス

JAK 先生体験記



▲青葉城（仙台市）を訪れた Jak 先生

先日、私は仙台市の青葉城を訪れ、伊達政宗の銅像を見てきました。仙台では、牛タンにも挑戦してみました。初めて食べましたが、とてもおいしかったです。

ここで、私のふるさと（イギリス・ウルヴァーハンプトン）について少し紹介したいと思います。

ウルヴァーハンプトンは、1年に1度くらいしか雪が降りません。降雪量も非常に少ないです。最も寒い日でも1月で4℃くらいです。そのため、雪が降ればいつも雪だるまを作ります。下郷町内でも、周りを良く見ると雪だるまが作られていますね。

冬の間、私たちは体を温めるためにホットシチューを良く食べます。これは、多くの野菜を使い、鶏肉か牛肉を使用して作ります。非常においしいです。

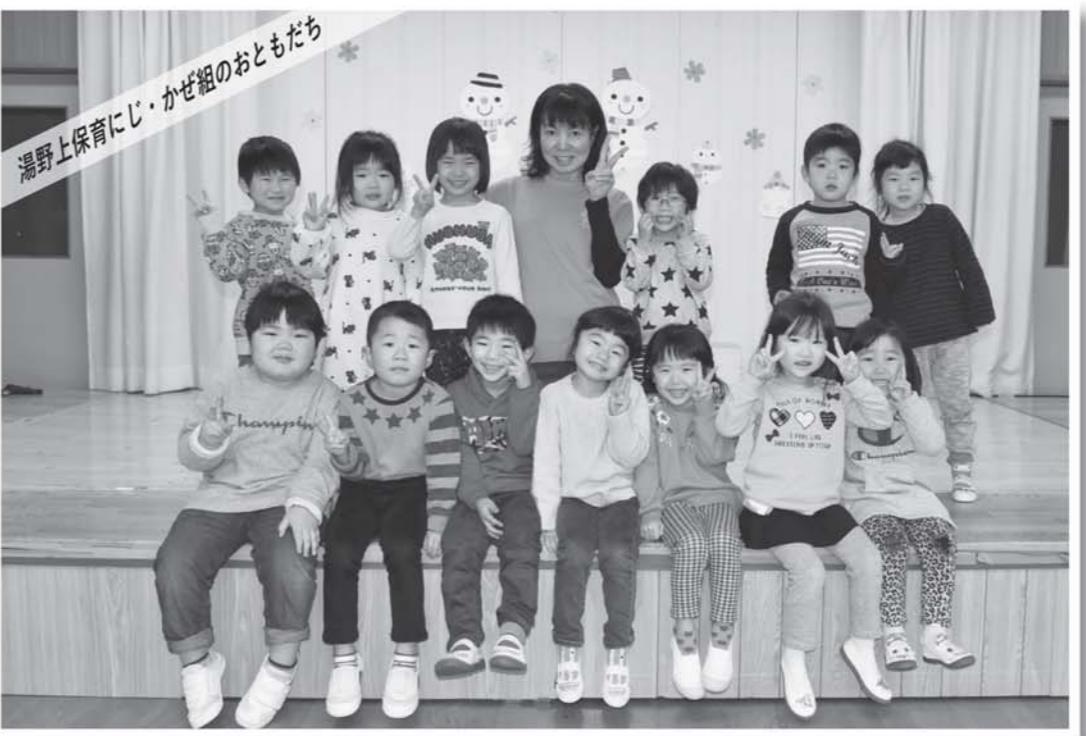
また、ミルクと紅茶をたくさん飲みます。私の家族も1日10杯以上の紅茶を飲みます。これがふるさとの日常です。

下郷はとても寒いですね。慣れるまでにもう少し時間がかかりそうです。

▲勤労感謝で町役場を訪れた保育所のそら組のお友達です。
湯野上（左）しもごう（右）

すこやかちゃん
来月1歳になる「すこやかちゃん」はだれかな?
掲載希望者は15日まで
総合政策係へ連絡を TEL69-1122
soumu_03@town.shimogo.fukushima.jp

今日はおやすみです。



【団体名】

下郷スキークラブ

【会長名】

室井祥一（塩生）

【会員数】

24名

【団体紹介】

下郷スキークラブは昭和38年1月に発足し、翌月に第1回町民スキー大会が開催され、以来大会主管を担ってきた歴史ある団体です。

昭和50年には全日本スキー連盟に加入しました。現在の有資格者は、正指導員5名・準指導員3名・公認パトロール2名・認定指導員2名・1級5名・2級2名です。

本クラブは、スキーの正しい普及と発展を図り、町民の体力向上に寄与することを目的としています。町民スキー教室や小・中学校スキー教室などにも講師として、活動に貢献しています。

スキーは生涯スポーツであり、長年にわたり楽しむことができます。ワクワクする冬を過ごしたい方など、皆さんの入会をお待ちしています。

【問合先】

町体育協会事務局（町教育委員会社会教育係内）

☎ 0241 (69) 1168

—湯野上保育所—

下郷町大字湯野上字杉ノ内乙502-1

TEL68-2315

所長	横山 欣子
職員数	9名
組数	5組
園児数	38名
ひよこ組（0.1才児）	10名
うさぎ組（2才児）	5名
かせ組（3才児）	6名
にじ組（4才児）	7名
そら組（5才児）	10名

◆保育理念

子ども一人一人を大切にし、保護者からも信頼され地域に愛される保育所を目指す。

◆保育目標

- 思いやりのある子ども
- がまん強い子ども
- がんばる子ども
- みんなと仲良く遊べる子ども



園児たちの日々をの保育所生活は「元気」。この二文字では表すことができないほど元気いっぱいの毎日です。先日、先生にとって嬉しい出来事がありました。それは、誕生日に子どもたちが「ハッピーバースデー」を歌つてくれたことです。それまで自分が誕生日があまり好きではなかった先生でしたが、そのときは本当に嬉しくほっこり気持ちは表すことができないほど元気いっぱいの毎日です。

最近は、縄跳びに夢中です。保育所では、年長さんになると運動会で縄跳びを披露します。にじ組さんはもうすぐ年長さんになるので、今から一生懸命練習に取り組んでいました。かせ組さんも、にじ組さんをまねて一緒に練習しています。そんなパワフルなにじ・かせ組の皆さんです。





星 七緒さん (姫川)

Nao Hoshi

353

七

緒さんは、卒業を間近に控え
る郡山女子大学短期大学部の
2年生です。

短大では幼児教育学科において、
保育者になるための知識や実践力を
身に付けてきました。昨年8月には、
しもごう保育所で実習を行い、2才
児を担当し「実際の現場でしか体験
できないことを学ばせていただきま
した」と話します。

保育者という夢を追いかけ始めた
きっかけは、親戚の幼い子と触れ合
う内に「私も保育に関わる仕事に携
わりたい」と思ったとのこと。就職
先も内定し、夢の実現まであと少し
です。子どもの意思を尊重できる保
育者になりたいと意気込みます。

七緒さんの楽しみは、ホラー映画
鑑賞です。寮生活でたくさんの友達
もでき、「みんなで良く見ます」と笑
顔で答えてくれた七緒さんでした。



～下郷町内の企業紹介～

みやもとや
(有)宮本屋

代表 星 竹美さん

従業員 7名

所在地 下郷町大字音金字宮ノ前 259



音 金地区に事務所を構える宮本屋は、昭和58年に竹美さん
が起業し、地域に根付く建築業として営んでいます。

起業のきっかけは、大工として働いていた竹美さんの夢「自
分の家を建て独立すること」でした。

主な業務内容は一般建築。住宅の増改築を含め、建物一式を
取り扱います。仕事で大切にしていることは、お客様の希望
に合うように、アドバイスも含め寄り添った作業を実施するこ
と。そのため、お客様に「良かった」と喜ばれることが本当
の喜びと話します。

竹美さんの息子である達也さんも働いています。ものごろ
が付くころには実家を継ぐと決めていたとのこと。後継者とし
て「地域に貢献できる工務店として努めていきたい」と抱負を
話してくれました。

①宮本屋の皆さん（左から星（達）さん、
星（竹）さん、星（勝）さん）②電気ノ
コギリで作業する星（勝）さん